
気象庁と XML コンソーシアム 「気象庁防災情報 XML フォーマット」(Ver.1.0) の仕様を策定

気象警報、地震・津波情報等の防災情報の幅広い活用を目的として、気象庁は、XML コンソーシアムの協力を得て、「気象庁防災情報 XML フォーマット」(Ver.1.0) の仕様を策定しました。今後、この仕様に基づく各種の防災情報の提供の準備を進めていきます。

気象庁は、自然災害の軽減、国民生活の向上、交通安全の確保、産業の発展などに寄与するため、警報、注意報などの各種防災情報の改善・高度化に努めています。この防災情報の一層有効な活用を促進するため、気象庁は、利用者の様々なニーズへの対応やシステム効率などの観点から、提供する情報の形式について、情報の種類毎に固有の形式で定めているこれまでの方式に代えて、汎用性が高く、広く一般に普及している XML 形式を採用することとしました。

情報形式の検討及び仕様の策定にあたっては、平成 19 年度から XML コンソーシアムの協力を得て作業を進め、また、仕様案に対する意見公募を 2 回実施するなど、多くの皆様のご支援・ご意見を頂き、今般、気象庁は「気象庁防災情報 XML フォーマット」(Ver.1.0) の仕様を策定しました。

また、公開に先立ち、XML コンソーシアムでは、「気象庁防災情報 XML フォーマット」(Ver.1.0) について、数多くの動作環境において検証作業を実施し、運用上の問題のないことを確認しています。

「気象庁防災情報 XML フォーマット」の仕様の詳細、サンプル電文等は下記のホームページから入手頂けます。また、今後同ホームページにおいて、同仕様の利用に必要な情報を提供してまいります。

<http://xml.kishou.go.jp/>

気象庁では、今後、この仕様に基づく防災情報の平成 22 年度の配信開始に向け準備を進めるとともに、引き続き XML コンソーシアムの協力を得て、仕様の普及に取り組んでまいります。

■ 気象庁について

気象庁は、気象業務の健全な発達を図ることを任務とした、国土交通省の外局です。災害の予防、交通の安全の確保、産業の興隆等、公共の福祉の増進に寄与する、気象や地震・津波、火山現象、地球環境、海洋に関する情報発信等を行っております。

■ XML コンソーシアムについて

XML コンソーシアムは、XML 技術のビジネスにおける実用化推進を行う国内唯一の団体です。セミナー・イベント、部会活動、情報発信、標準化推進、各業界団体との連携などの具体的な活動を通じて、さまざまなコンピュータシステムにおけるXML 技術の適用に貢献してまいります。

<本件に関するお問合せ先>

気象庁総務部企画課 長田

TEL. 03-3212-8341 (内線 2228)

E-mail. jmaxml@met.kishou.go.jp、URL <http://xml.kishou.go.jp/>

XML コンソーシアム事務局 赤池 (富士ソフト株式会社内)

TEL. 03-5600-6205

E-mail. xmlcons_staff@fsi.co.jp、URL <http://www.xmlconsortium.org/>